

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ 組

教科担当者：

使用教科書：（第一学習社 高等学校 新公共）

教科 公共 の目標：

- 【知識及び技能】 社会の一員としての教養と公民的知識を深め、社会参画の中で知識を活用し、新たな文化を創造する能力を養う
- 【思考力、判断力、表現力等】 獲得した知識を現実社会で生かし、自分の頭で考え判断し行動できるようにする
- 【学びに向かう力、人間性等】 社会の事象や問題を自分自身の問題としてとらえ、理解や課題の解決に向けて努力しようとする姿勢を養う

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元：青年期と自己形成、公共的な空間をつくる私たち ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして	①私たちの社会/青年期を生きる私たち ②個性の形成と自主・自律/個人の尊厳と社会的存在としての人間	【知識・技能】 青年期は自立をはかる時期であることを理解できている 【思考・判断・表現】 自己形成の課題に考察ができています 【主体的に学習に取り組む態度】 自己実現に向け前向きに取り組んでいる	○			11
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1
	B 単元：法や規範の意義と役割 ①私たちと法 ②法と基本的人権 民主主義と法の支配、政治体制	①法とは何か/ルールをつくる時の条件/ルールの評価と法の限界 ②憲法と基本的人権/基本的人権と法 ③自由権/精神的自由/人身の自由/経済的自由④法の下での平等 ⑤社会権/環境権/プライバシー権/自己決定権	【知識・技能】 先哲の知恵を自己の生き方を応用できる 【思考・判断・表現】 未知の異文化に適應できる能力がある 【主体的に学習に取り組む態度】 伝統を受け継ぐとともに新たな文化創造を試みようとする	○			11
定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1	
2 学期	④自由に生きる権利と法・規範 ⑤平等に生きる権利と法・規範 ⑥安全で豊かに生きる権利と法・規範 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任 ⑩平和主義とわが国の安全 B 単元：民主社会の基本原理解 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加	民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。 ・選挙の意義や課題、世論の形成や政党の役割を理解する。 ・主権者である国民と国会・内閣の関係を理解する。	【知識・技能】 政治は身近な生活に直結していることを知る 【思考・判断・表現】 社会的課題に理解ができています 【主体的に学習に取り組む態度】 公民的資質獲得に向け前向きに取り組もうとしている	○			11
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1
	⑥地方自治と住民福祉 D 単元：国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 E 単元：国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会	①国際社会のしくみと特質/国際法の意義/国際裁判制度 ②国境/国境と領土をめぐる動き ③国際連合の成立 ④東西冷戦/大国の覇権争い	【知識・技能】 主権国家が並び立つ国際社会は、どのように成り立っているのかを理解する。【思考・判断・表現】 国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○		13
定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1	
3 学期	②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割 F 単元：私たちと経済 ①今日の国際社会	脅威の複雑化と多様化/対立と分断をこえて紛争の背景/難民問題 国際社会における日本の役割/日本に求められる役割 ①労働者と権利②日本経済のこれまでとこれから③現代の企業④日本の農林水産業⑤市場経済と経済運営⑥国民所得と私たちの生活⑦金融の意義と役割⑧財政のしくみと租税⑨社会保障と国民福祉	【知識・技能】 今日の国際社会の特徴について理解する 【思考・判断・表現】 国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、公正などに着目して考えている 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○			19
	定期考査	知識の定着度・達成度を測定する		○	○		1

高等学校 令和6年度 教科 社会 科目 地理総合

教科：社会 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：()

使用教科書：(高校生の地理総合 帝国書院)

教科 社会 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代社会の地域的特色と日本および世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題をまとめ主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 1節 地球儀と地図 地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 目的に応じた地図や地理情報システム	・指導事項：1節 地球儀と地図 地球儀やさまざまな図法の地図から、現代世界の姿はどのように読み取ることができるだろうか。2節 地図と地理情報システム(GIS)には、それぞれどのような役割や有用性があるのだろうか	【知識・技能】 地球上における位置のとりえ方について理解している。 【思考・判断・表現】 地球上における位置の違いは、どのような物事によって現れているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 球体の地球儀と平面の地図それぞれの適切な利用のしかたについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	4
2章 結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解する。 国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 国家の領域はどのように定められているのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 1 節 現代世界の国家と領域 国家の領域と国境はどのように定められ、日本の位置と領域にはどのような特徴があるのだろうか。	【知識・技能】 世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	5
	定期考査		○	○		1
	・指導事項 2 節 地図から見る国内や国家間の結びつき 現代世界を表したさまざまな地図から、人やモノ、情報の結びつきをどのように読み取ることができるだろうか。	【知識・技能】 国家間の結びつきの変化をとらえるのに地図が有用であることを理解している。 【思考・判断・表現】 経済圏に着目しながら、国家間の結びつきがどのように変化しているのかについて、地図を用いて多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	9

			【主体的に学習に取り組む態度】地図から読み取れる国家間の結びつきの変化について、主体的に追究し、課題を見いだしている。				
	2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 序説 生活文化の多様性 1 節 世界の地形と人々の生活 世界各地にみられる地形は、人々の生活とどのように関わっているのだろうか。	【知識・技能】世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2節 世界の気候と人々の生活	・指導事項 気候の違いは、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	【知識・技能】世界の気候の広がりや、気候と人々の生活が深く関わり合っていることについて理解している。 【思考・判断・表現】衣食住に着目しながら、世界の気候がどのような広がり方をしているのかや、気候と人々の生活がどのように関わり合っているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候と深く関わり合いながら人々が生活を築いてきたことについて、衣食住を手がかりに主体的に追究し、課題を見いだしている。				7+1
	3節 世界の産業と人々の生活 5節 多様な生活文化と地理的環境 産業 ① アジア ②-ヨーロッパ- ③ ロシア ④ 南北アメリカ ⑤オセアニア	農業の国際化や技術の発達、世界の人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。私たちの食生活をイメージしながらみていこう。工業の発展は世界の人々の生活をどのように変化させてきたのだろうか。発展の経緯や移り変わりに着目しながらみていこう。	【知識・技能】農業の国際化や技術の発達が、世界の人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 【思考・判断・表現】自らの食生活をイメージしながら、農業の国際化や技術の発達が、世界の人々の生活にどのような影響を与えてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】農業の発展が、自らの食生活だけでなく世界の人々の生活も変えてきたことについて、主体的に追究				15+1
3 学 期	4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	宗教・民族・言語は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	【知識・技能】宗教や言語といった文化が、民族というまとまりの形成や、人々の生活に影響を与えてきたことについて理解している。 【思考・判断・表現】世界の民族に着目しながら、各民族がどのような文化や生活様式をもっているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。				2
	2章 地球的課題と国際協力2章の目標 【知識・技能】地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解する。地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考・判断・表現】地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだす。	世界各地の特色ある生活文化を考察するにあたって、まず日本の生活文化における世界と共通点・相違点に着目してみよう。そして、自然環境、産業、宗教・歴史、結びつきの各テーマから一つずつ事例を選んで学習していこう。	【知識・技能】球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。				13+1 合計 70